

ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ

株式会社横浜工作所



年間700隻、船舶修理のエキスパート 事業の多角化とチーム一丸経営

横浜工作所は、創業100年を超える船舶修理のバイオニアです。
近年は大胆な社内改革を進め、業績は右肩上がりです。成長を支える「事業の多角化」と「チーム一丸経営」に迫ります。



1.ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ

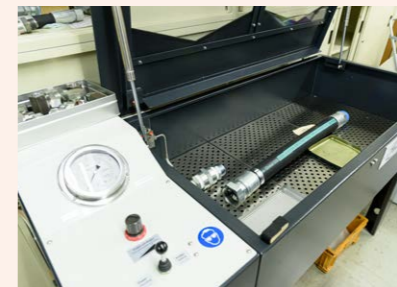
2.ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ

3.ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ
ここに文章が入るよ



こんな仕事です

外板の修復、エンジンの交換、電気・配管工事。船舶に関わるあらゆる修理を行います。ここはF1レースで例えるなら「ピット」、船の安全な航行に欠かせない修理基地です。民間船だけでなく、海上保安庁など官公庁の船も扱います。下水処理施設など陸上の環境プラントや在日米軍艦船の修理、部品の機械加工も手がけ、幅広い技術を身に付けられるのが魅力です。



ここに文章が入るよ1ここに文章が入るよ2

ここに文章が入るよ1ここに文章が入るよ2

会社情報 Company profile

会社名	株式会社 横浜工作所
業種	船舶造修業、建設業における機械器具設置業
代表者	代表取締役 二宮 一也
会社住所	〒230-0052 神奈川県横浜市鶴見区生麦2丁目3-29
社員数	50名（女性7名）
平均年齢	47歳



採用情報 Recruit information

職種 職務内容	船舶造修業（機関仕上、船舶艦装品、船舶機器組立、船舶電装、溶接、上下架作業、鉄工他） 機械器具設置業（機械設備改修、重量物運搬、配管、電気配線他）
勤務地	神奈川県横浜市鶴見区生麦2丁目3-29
勤務時間	8:00~17:00
給与	月給：19万~40万 / 賞与：年2回（4.5ヵ月）
休日	週休2日制・祝日・年末年始・夏季休業あり
各種手当	通勤手当・家族手当・住宅手当・運転手当
保険等	雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金・退職金制度
応募資格	59歳以下（定年年齢60歳のため）
応募方法	履歴書（要写真）及び職務経歴書を郵送ください。別途、面接日を調整します。
問合せ先	株式会社横浜工作所 総務部 人事G TEL045-503-5115

突撃ライターが
ずばり社長に聞いた！

横浜工作所はどんな会社？

創業100年の歴史。 社内改革で生まれた新しい風

入社したら、どんなことができるのか。会社はこれから、どんな未来へ向かっていくのか。全国各地の仕事や暮らしを取材してきたライターが経営陣を直撃しました。



1.ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！
2.ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！
3.ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！ここに文章が入るよ！

船だけでなく、陸上施設の修理も

「造船の技術を応用して、いろんな事業をやっているんです」。二宮社長がこう話すように、横浜工作所は様々なビジネスを手がけています。

メインは船の修理。自社構内での作業だけでなく、全国、ときには海外からの要請に応じて各地の造船所に技師を派遣し、緊急修理を行っています。修理するのは民間船だけでなく、海上保安庁など官公庁の船、さらには在日米軍の艦船も。その数は、多いときで年間約700隻に上るそう。それほど頼りにされているのは、創業100年で培った豊富な実績とすぐれた技術があるからです。

それだけではありません。下水処理施設や廃棄物処理施設など環境保全に関するプラントの修理、さらに船舶や陸上施設で使われる部品の機械加工も手がけています。こうした事業の多角化が、安定した経営を支える一因になっているのです。

利益が出れば、社員に還元する

一方で、近年は二宮社長が主導して大胆な社内改革も進めています。「『きつい』『汚

い』『危険』の3Kのイメージを変えたい」と、清掃や挨拶、安全管理を徹底するとともに、オフィス内も会議室に立派な机と椅子を並べ、社長室を撤廃。さらに、ランニングマシンやマッサージチェアのあるトレーニングルームをつくるなど、風通しのいい職場をつくり、福利厚生も手厚くしています。

「これ、見てくださいよ」と言って二宮社長が取り出したのは、自ら考案したという作業着。上はジージャン、下はチノパン風のオシャレなデザインにしたのは、少しでも社員に気分よく働いてもらいたいからです。

事業の多角化と社内改革。これによって業績は近年、右肩上がりです。伸びています。「利益が出れば賞与で社員に分配する。マイナス査定もない」というのが二宮社長のポリシーで、実際に年収が2～3倍に増えた社員もいるそうです。このコロナ禍でも、しっかりボーナスも支給しました。

がんばった分だけ、財布の中身が増える。それを実感した社員も自ら動き出しました。最近では、社員が発案した工場のISO認証を約7カ月の早さで取得。二宮社長が掲げる「トップダウンではなく、社員参加型の経営」へ着実にステップアップしています。

ベンチャーの勢いと、サラリーマンの安定

そんな二宮社長には、大きな野望があります。それは、「東京湾内に大きな修理基地をつくること」です。

多くの船が入り出る東京湾内。しかし、緊急修理に対応できる場所は少ないため、「私たちが安心してできる場所を提供したい」というのです。

そのためには広大な土地の取得、莫大な投資が必要です。ハードルは決して低くありませんが、二宮社長は「社員みんなががんばって利益を上げて、チャンスをつかみたいですね」と力強く語ります。

最後に、若手の採用について熱いメッセージを送ってくれました。「自分のやりたいことを実現できるし、安心して生活を送れる。ベンチャーの勢いとサラリーマンの安定。横浜工作所なら、その2つの“いいとこ取り”ができます。私たちと一緒に成長していきたいしょう」

代表
○○ ○○



社員が
本音で語ります

ここに仕事のやりがい、あります

01 現場一筋20年。「仕事は今が一番楽しい」

「造船の仕事が楽しくて、高卒で入社して約20年。外板工事など現場一筋でやってきました。若い頃は仕事を覚えるのに必死で大変だったけど、できることが増えた今は毎日仕事を楽しんでいます。若い人には『やってみよう』という気持ちを大事にしてほしいですね」(30代男性)



03 知識ゼロでも安心。やさしい先輩がいるから

「船の事務仕事は初めてで、最初は『ボルトって何?』『ラフタークレーンって?』とわからないことだらけでした。そんなときに助けてくれたのが先輩たちでした。失敗しても、『次はこうしようね』とやさしく教えてくださいました。冬はみんなでスノーボードに行くのが恒例行事なんです」(30代女性)



05 技師から総務へ。勤怠管理システムを導入

「本職は技師ですが、今は総務部でパソコンと向き合う毎日。社内改革の一環で勤怠管理システムを導入したのが、思い出深い仕事です。いろんな仕事を経験できるのも、この会社の魅力ですね。会社最寄りの生麦駅周辺は居酒屋がたくさんあって、過ごしやすいい場所ですよ」(40代男性)



02 小学生の子供2人。「父さん、がんばってるよ」

「どんどん働きやすい職場になってるし、コロナ禍でもちゃんとボーナスが出ました。育ち盛りの小学生の子供が2人いるので、安心して働けるのはありがたいですね。経営陣が社員の生活をしっかり考えてくれているので、こっちは『がんばろう』って気持ちになるんです」(30代男性)



04 現場を支える事務。「ありがとう」が活気に

「事務といっても、船の修理に関する手続きや申請書類はたくさんあって、毎日同じ仕事をするわけではありません。その分やりがいがある、楽しいですよ。私の役割は、現場の職人さんが気持ちよく働けるようにサポートすること。『ありがとう』『助かった』の一言が活力です」(30代女性)



こんな人に ぴったりの仕事です！

積極的に
いろんなスキルを
身につけたい人

福利厚生が
充実した職場で
働きたい人

上下関係のない
フラットな
組織がいい人

きれいな
オフィスや工場で
働きたい人

会社と
一緒に
成長したい人

新しい事業を
立ち上げて
みたい人

ある職員の1日♪
スケジュール

07:00
起床

07:45
出社

07:55
体操

08:00
午前
始業

10:00
休憩

12:00
昼休み

12:45
午後
始業

15:00
休憩

16:45
定時
終了

17:00
退社

ここに文章が入るよ1
ここに文章が入るよ2

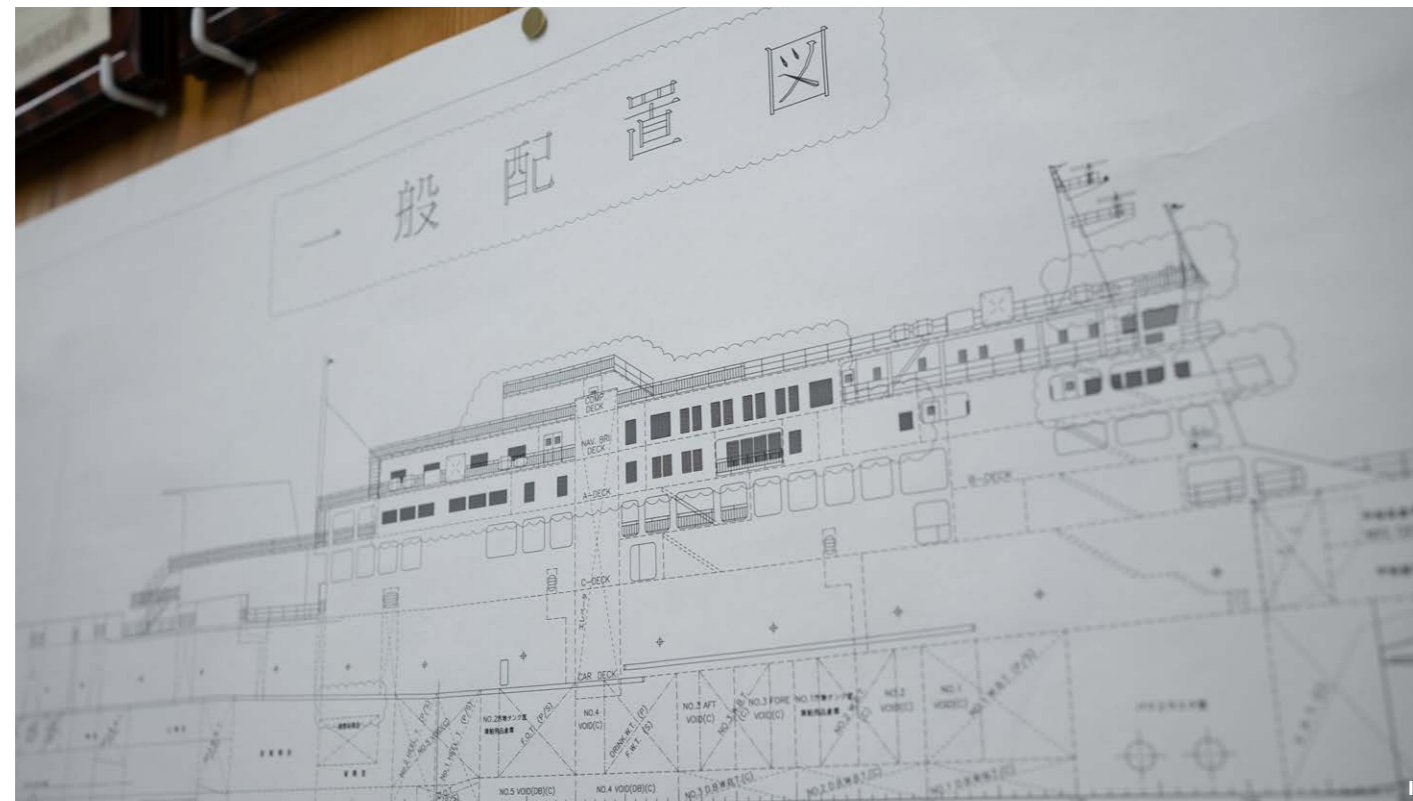
ここに文章が入るよ1
ここに文章が入るよ2

山陽船舶電機株式会社



船の電力を支えるスペシャリストたち ベテランも若手も一丸で社長支える

大きな船を電力から支える仕事について、知っていますか?山陽船舶電機は70周年を迎えた尾道の歴史ある会社。
10代~70代までの様々な世代が力を合わせて働き、次なる時代に向けて新社長を支えています。



1.巨大な船を支えている電気設計が記載された配置図。
2,3.綺麗に整頓された工場内。道具を長く大事に使うところに、この企業のアイデンティティが宿る。



こんな仕事です

船舶用電気機器の専門商社、いわば船を電力から支える仕事です。船の電気部門の設計、電球や工具など部品の納品・設置、船本体の修繕・修理などトータルにカバー。営業・技術・設計担当者間で頻りにやりとりして問題を解決に導きます。大きな船に直接触れられるスケール感のある業務内容が多く、日本のインフラを支える仕事に興味のある人にぴったりです。



デッキを照らす大きな電球



機械好きにはたまらない作業

会社情報 Company profile

会社名	山陽船舶電機株式会社
業種	船舶電装業及び資材販売
代表者	代表取締役 柏原 幸史
会社住所	広島県尾道市西御所町4-29
社員数	43名(内女性4名)
平均年齢	40歳



採用情報 Recruit information

職種	船舶電気工事 / 船舶電気設計
職務内容	船内の電気工事業(溶接、配線作業等) / 船舶電気部門のみの設計
勤務地	船舶電気工事...内海造船株・尾道造船株の構内 船舶電気設計...本社
勤務時間	8:00~17:00
給与	【月給】20万~30万円 【賞与】年2回
休日	土・日・祝日(当社の年間休日カレンダー)
各種手当	住宅手当、通勤手当、資格手当外
保険等	雇用保険(労災)、健康保険、厚生年金、退職金制度
応募資格	59歳以下 ※未経験者歓迎
応募方法	履歴書(写真付き)、面接
問合せ先	山陽船舶電機株式会社 総務部長 松岡 光則 広島県尾道市西御所町4-29 tel.0848-22-7154

突撃ライターが
ずばり社長に聞いた！

山陽船舶電機株式会社はどんな会社？

家族のようなあたたかい雰囲気 新社長就任、新たな船出

入社したら、どんなことができるのか。会社はこれから、どんな未来へ向かっていくのか。
全国各地の仕事や暮らし取材してきたライターが経営陣を直撃しました。



社長室にもこもることなく、社員と同じ空間で業務をこなす傍ら、常に他愛のない話で事務所内は笑顔に包まれる。ベテランから若手まで垣根のない会話が尽きなかった。



社長と話せる風通しの良い社内

備後地域の大手造船会社が主な取引先で、造船所内の電気工事や取引先への定期訪問・見積作成など、船舶用の電気機器の施工と販売を行います。専門知識が必要とされるため、社内の営業・技術・設計の担当者同時で綿密にコミュニケーションを取りながら一丸となって業務を進めていきます。同社の特徴は風通しの良い雰囲気です。様々な年齢の人が力を合わせて働き、おとし就任したばかりの45歳の若手社長を支えます。三代目の柏原幸史社長は社員について「協調性のある人が多い」と話します。「取引先の方々からよく山陽船舶さんはあまり荒い人がいないと言われる」。それは先代、先代から脈々と受け継いできた山陽船舶電機のカラーで、特別な指導を経なくとも自然と真面目で穏やかな性格な人が集まり、残っていきます。「僕のやりがいは社員との会話で、提案をもらおうと本当に嬉しい。社員の発言を推奨している」と柏原社長。毎年一回開催される社員旅行についてアンケートを取ったところ、「実施してほしい」との声が多数を占めました。

地域に根差して70年

初代と2代目の社長は(一社)日本船舶電装協会の会長を務めており、それぞれ叙勲を受賞しています。地域では名の通った会社として知られて、尾道に根差して70周年を迎え、長く付き合いのある取引先・仕入れ先と強固な信頼関係を築いています。新規事業として始まった設計部門には地域の大手造船会社からやってきた社員も多く、業界からの注目度の高さが表れています。また、これまで培ってきた技術を時間をかけて伝承していく風土があります。技術担当は入社後に先輩社員に個人指導を受けながら数年スパンでじっくりと技術を習得していきます。柏原社長は「専門知識がない人でもやる気さえあれば皆が受け入れてくれる。現場だから親分の背中を見て覚える」といった古い考えはしない」と話します。取引先の造船会社や仕入れ先は馴染みの会社が多く、確立された信頼関係のもと業務を始められます。

変えるべきところは変える柔軟さ

老舗だからといって歴史の上に胡坐をかいているわけではありません。「自然環境への対応や作業の進め方など、変えるべきと

ころは変える。アンテナは常に張らなければならぬ」と柏原社長は意気込みます。コロナ禍で不安定な情勢にあっても採用には積極的です。100周年に向けて既存の事業をさらに堅調に伸ばしていくつもりです。今後は様々な経営者と話し合いの機会を持ちながら良い出会いがあれば新規事業にも前向きです。また、以前から向島で不動産関連事業も展開しており、経営の安定材料に。「向島には移住者が増えており、よく宣伝されることもあり、ブームでは」と柏原社長。とはいえ「安全第一に働いてもらうことが大事」と柏原社長は表情を引き締めます。業務内容や悩み、家族・社員自身の話題などなんでも相談できる環境づくりを大切にしています。柏原社長は「どんな人でも入社すれば自然とうちのカラーに染まっていく。分からない部分は丁寧に教える。どんな人でも馴染める職場だと思う」と締めくくりました。

代表取締役
〇〇〇〇



社員が
本音で語ります

ここに仕事のやりがい、あります

ある職員の1日
スケジュール

08:00

造船所の
現場に
入社

12:00

昼休憩

17:00

退社
時間通りの
退勤が
ほとんど

01

分からないことはなんでも聞ける職場

「高校を卒業して入社しました。当初は現場の技術職を経験して現在は営業職です。入社理由は父が勤めている会社だからです。分からないことはなんでも聞けますし、父から良い職場だよと勧められました。特徴は挨拶がしっかりしている点ですかね」

船まるごと一隻分の部品を扱う

「納品する部品に破損や傷がないかを確認し、現場へ出荷作業をしています。部品は船まるごと一隻分の照明関係具を扱っているので種類が豊富です。どんな人でも馴染める職場だと思いますね。技術職でも営業職でも丁寧に指導してもらえる環境です」



20代男性スタッフ

02

環境に惹かれ、定年退職後に就職

「前職の造船会社を定年退職後、就職しなおして7年目になります。まだまだ働きたい気持ちがあり、またこの先代の社長と面識があったことも入社理由でした。よそから転職して来る人は多いですね。家庭的な雰囲気があって働きやすいです」

職場環境はちょうど良いバランス

「秩序が保たれていて、それでいて厳し過ぎない、ちょうど良い塩梅の環境です。設計にはある程度の電気基礎知識は必要ですが、やる気があればどうにかなるのではないのでしょうか。知識がなくとも教える風土がありますね」



70代男性スタッフ

03

同じような現場がなく、刺激ある

「高校卒業後に入社し、今は主に船の修繕を担当しています。近くの向島ドッグさんや三和ドッグさんに行き、手配した品物を取り付けたりします。どの現場は同じようなところはなく、面白いです。やる気さえあればうちは誰でも歓迎するでしょう」(60代男性)

こんな人にぴったりの仕事です！

船が
好きな人

アットホームな
雰囲気が
好きな人

裁量の大きな
仕事が
したい人

尾道が
好きな人

設計に
携わりたい人

スケールの
大きな仕事
がしたい人